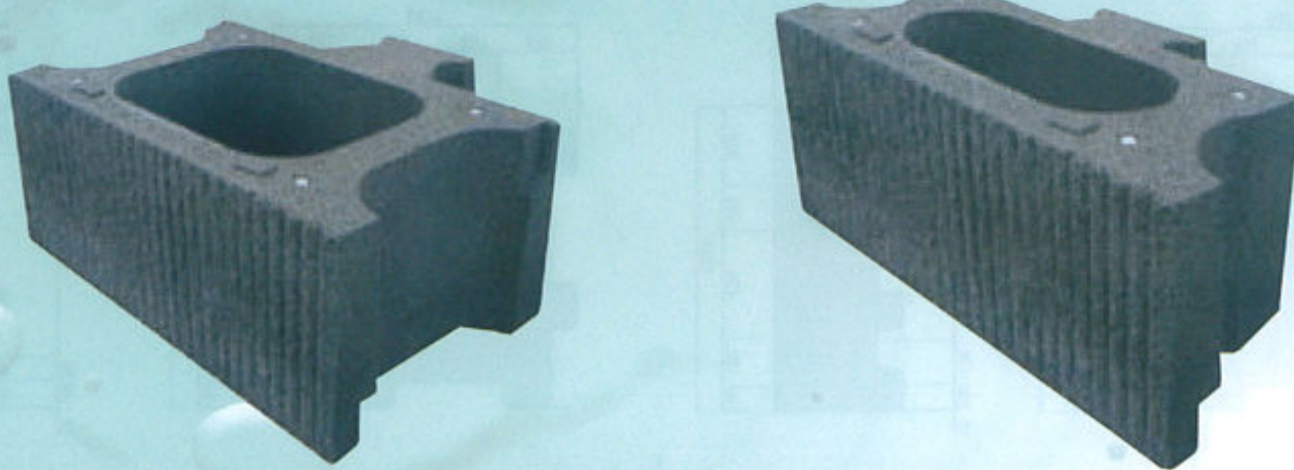


ポーラスコンクリート大型ブロック



特長 NETIS登録 SK-090015-A

- ①ポーラスコンクリート大型積ブロックで、施工性・経済性に優れています。
- ②胴込部は500型・750型で2箇所、650型・1000型で3箇所を設けており、胴込材としてコンクリート・栗石・砕石を使用することができるため、安定計算上最も経済的な断面構造とすることができます。
- ③控長が1m以上必要な場合は、ブロックと裏込コンクリートを一体化できる構造としているため、より強固な壁体を構築することができます。
- ④ポーラスコンクリートの連続空隙には、排水機能、吸音効果、明度低下の効果が期待できます。

施工例

河川護岸



道路擁壁



造成工事



即脱製品

道路オリジナル

カルバート

水路用

建設オリジナル

標準リブブロック

標準型並列型
ブロック

小型プレミアム

道路用一般

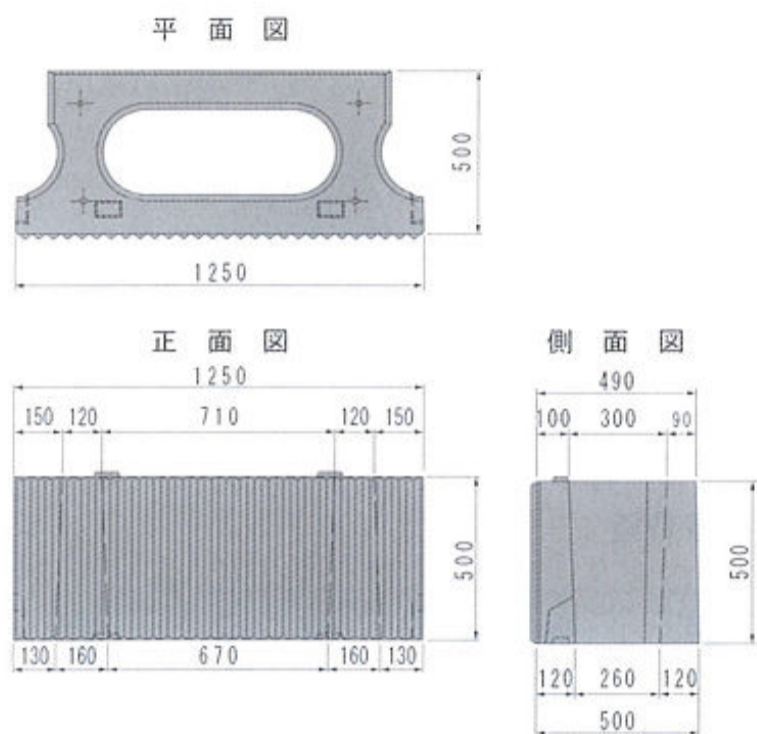
下水道

グレーチング

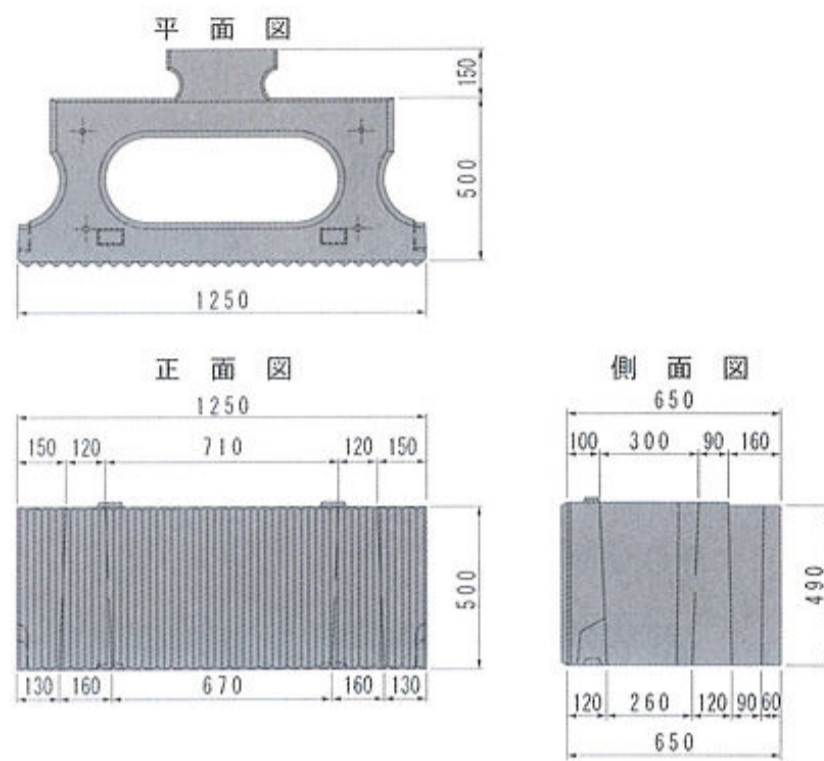
その他

単体図

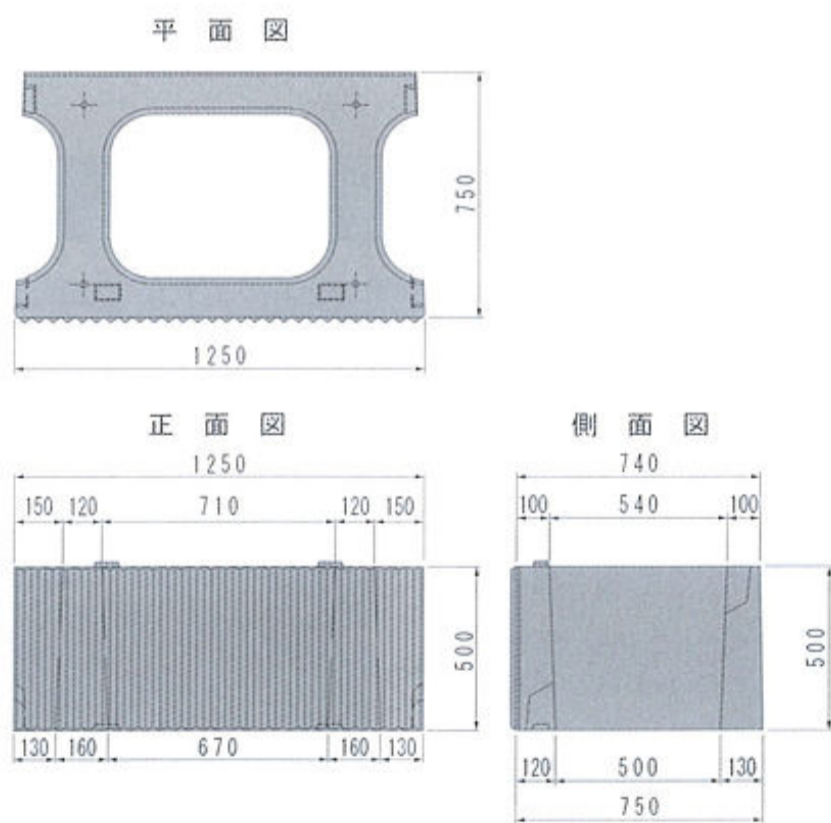
500型



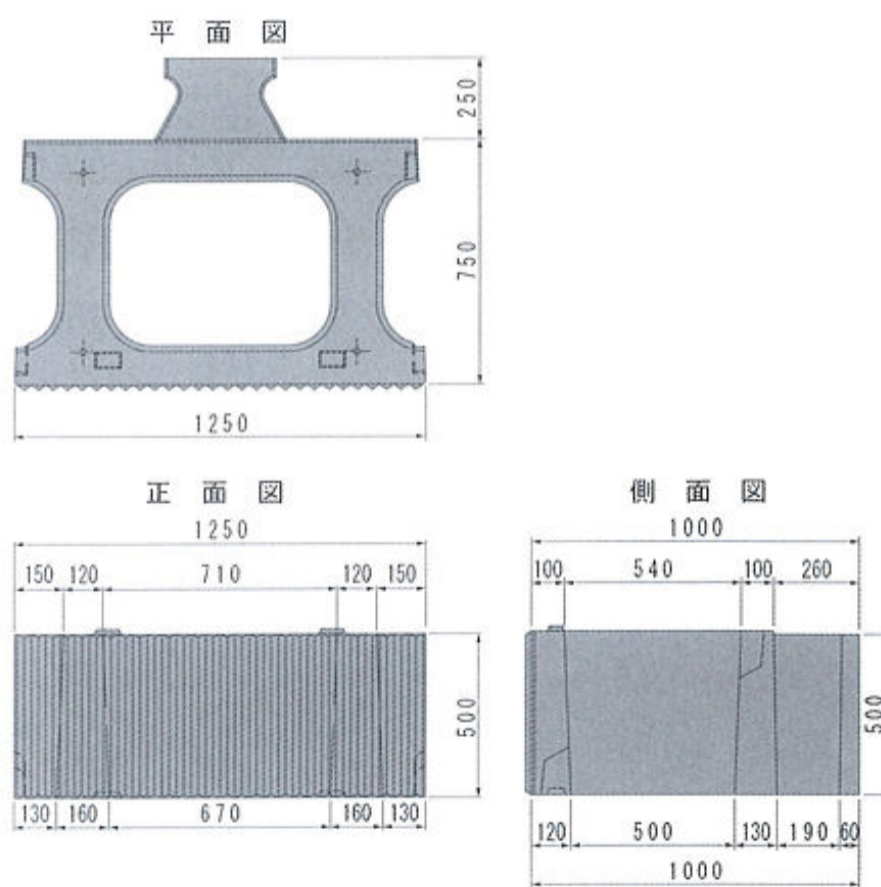
650型



750型



1000型



即脱製品

道路オリジナル

カルバート

水路用

道路オリジナル

積層リブブロック

標準型全開蓋

小型フリーユーム

水路用一般

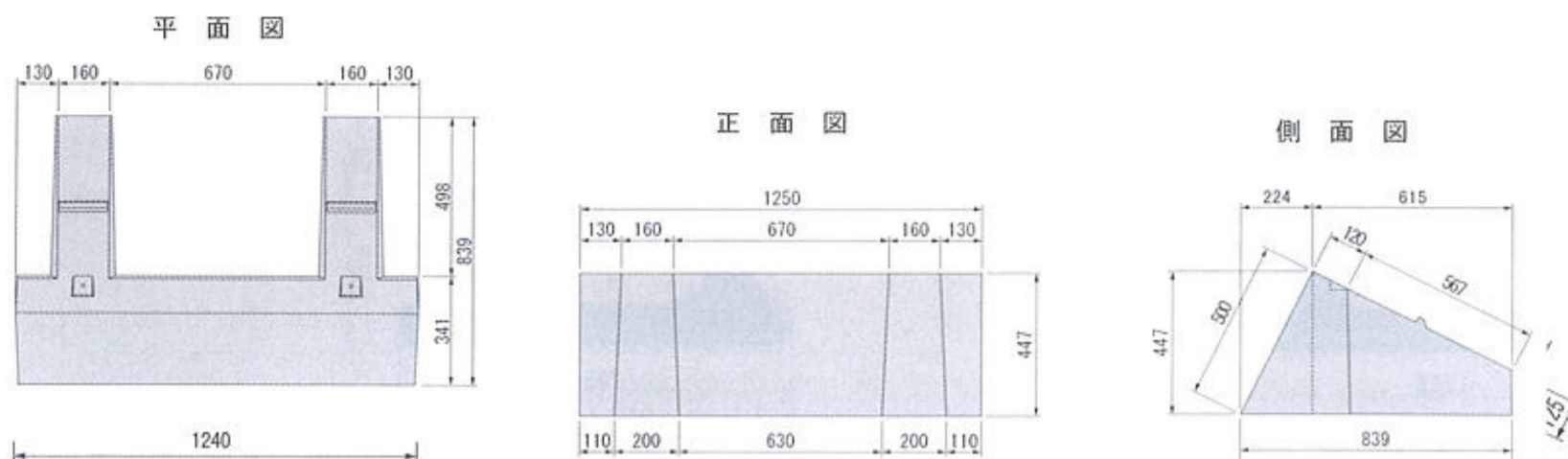
下水道

グレーチング

その他

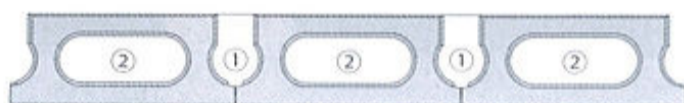
単体図

根石ブロック



胴込材詳細図

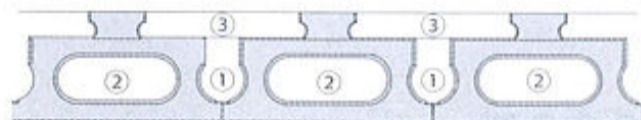
500型



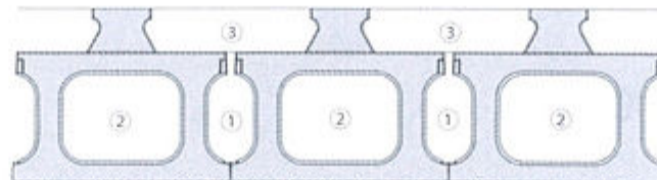
750型



650型



1000型



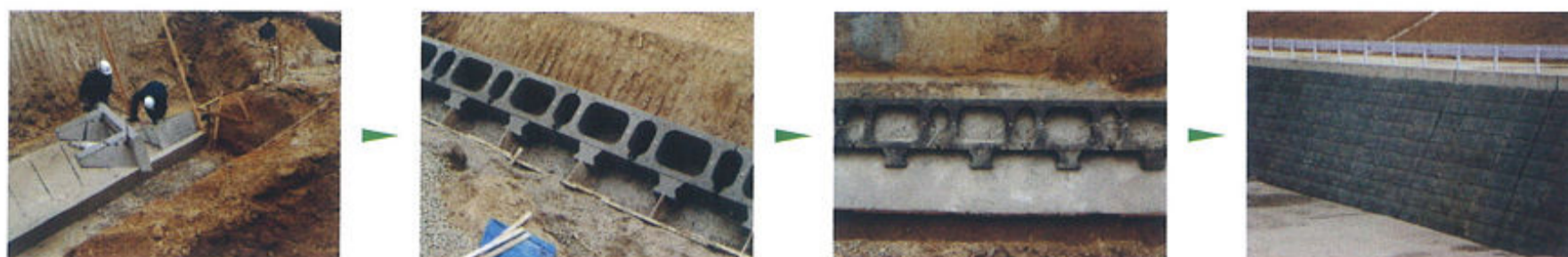
製品規格

名称	参考質量 (kg/個)	胴込量① (m ³ /個)	胴込量② (m ³ /個)	胴込量③ (m ³ /個)
500型	360	0.045	0.095	—
650型	400	0.045	0.095	0.075
750型	476	0.066	0.171	—
1000型	558	0.066	0.171	0.123
根石ブロック	369		0.161	

胴込材

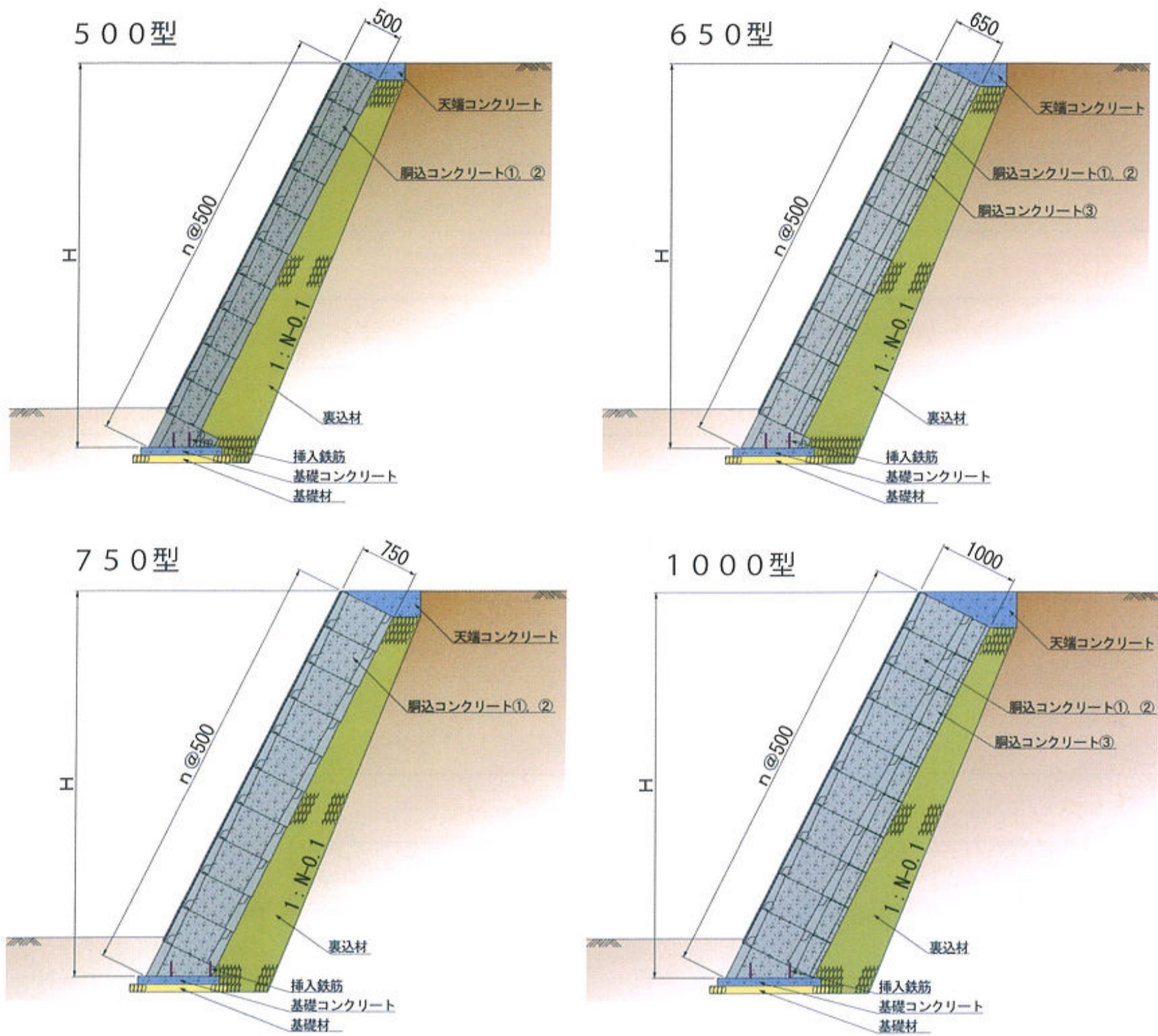
名称	胴込材①	胴込材②	胴込材③
コンクリート	○	○	○
クラシャラン	×	○	○

施工手順



- 1 基礎コンクリート打設
- 2 根石ブロックを基礎コンクリート上に据付
- 3 根石ブロックの胴込コンクリート打設
- 4 裏込材の充填
- 5 2段目のブロックを根石ブロック上に据付
※水抜きパイプを所定の位置へ設置
- 6 胴込・裏込コンクリートの打設
- 7 4・5・6の繰り返し
- 8 天端コンクリートの打設

標準断面図



(mm)

呼び名	参考重量 (kg)	価格	寸法	備考
500型	360	9,300	1,250×500× 500	
650型	400	9,700	1,250×500× 650	
750型	476	12,500	1,250×500× 750	
1000型	558	13,700	1,250×500×1,000	
根石ブロック	300	11,000	1,250×500× 750	

参考歩掛表

10m²当り

しずか (個)	世話役 (人)	ブロック工 (人)	特殊作業員 (人)	普通作業員 (人)	クレーン25t (日)	諸雑費 (%)
16.00	0.20	0.80	0.40	0.40	0.40	4.00